

# 統合分子病理診断のための カスタム遺伝子パネル検査

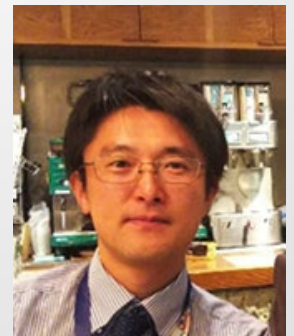
## 講演内容

WHO分類にゲノム情報が加味された診断が導入され脳腫瘍や子宮内膜癌、肉腫の病理診断にはゲノム解析が必須となった。本講演では、鹿児島大学病院でおこなわれている、カスタム遺伝子パネル検査を使用した統合分子病理診断の実際を紹介し、院内で実施するゲノム解析の有用性と同時に判明してきた問題点に関して概説する。



- **日時：** 2022年7月14日(木) 18:00-19:30
- **場所：** 慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟会議室3
- **講師：** 赤羽 俊章 先生

(鹿児島大学病院 ヒトゲノム遺伝子  
解析センター検査責任者)



問い合わせ先：慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット 秘書室  
Mail [hisho-genome-group@keio.jp](mailto:hisho-genome-group@keio.jp)  
電話番号 03-5313-4375(ダイヤルイン)

